

この資料は豊島区と長野県箕輪町が姉妹友好都市協定を締結するに際して確認した事柄をまとめたものです。

01 長野県箕輪町の基礎的な情報

◆ 箕輪町データ ◆

人 口…24,632 人(9,943 世帯)
面 積…85.91 ㎦

◆ アクセス ◆

豊島区役所－箕輪町役場 … 157.42 ㎞
自動車…2 時間 43 分(5,520 円)
電車…3 時間 48 分(6,788 円)



【 特徴 】箕輪町は南アルプスと中央アルプスに抱かれた長野県伊那谷の北部に位置する田園工業都市として発展している。近年は首都圏を中心とした先進開発型企業の進出が活発となり、ハイテクタウンへと変貌している。

◆ 町長プロフィール ◆

氏 名

しろとり まさのり

白 鳥 政 徳

生年月日

昭和29年8月17日生まれ（67歳）

経 歴

昭和48年 伊那北高校 卒

昭和54年 中央大学 法学部 法律学科 卒

昭和55年 長野県職員採用

平成26年8月31日長野県職員退職

箕輪町長就任(現在 2 期目)



【交流のきっかけ】

- 長野県箕輪町との交流が始まったのは平成 14 年(2002年)から。
- 巢鴨地藏通り商店街振興組合のイベント交流がきっかけとなり、交流が始まった。

【直近の動き】

3 月 11 日に箕輪町長が豊島区長を表敬訪問した。友好都市協定の締結や締結後の事業が話題となった。

02 交流事業のあらましと今後の見通し

豊島区もしくは箕輪町が実施した交流事業は以下のとおりです。

年 月 事 業 内 容

2005 年 4 月	防災協定の締結
2005 年 5 月	箕輪町町制 50 周年記念事業としてソメイヨシノを植樹。
2007 年 4 月	職員研修を目的とした人事交流の実施。
2011 年 11 月	東日本大震災復興支援事業「お国自慢 in 池袋」【 豊島区観光協会 】
2017 年 5 月	豊島区、箕輪町、としまテレビ、伊那ケーブルテレビジョンの相互連携協定【 としまテレビ 】
2017 年 8 月	ほどほどの田舎暮らし信州みのわ体験フェア【 WACCA IKEBUKURO 】
2019 年 10 月	こども大学みのわ【 大正大学 】
2020 年 3 月	区立保育園・幼稚園の卒園児に箕輪町特産のアルストロメリアの花束を贈る。
2020 年 9 月	森林(もり)の里親(としまの森)協定を締結
2021 年 10 月	ファーマーズ・マーケットへの出店
2021 年 12 月	信州みのわ町 出張所 in sunshine city【 サンシャインシティ 】

※ピンク色…自治体交流 黄緑色…民間交流

➤ 今後の交流事業の見通し

(1)自然環境ツアーの実施



豊島区民を対象に「としまの森」の見学の他に紅葉狩りや温泉といった「みのわの自然」が満載のツアーを開催する。

(2)「としまの森」除幕式



箕輪町内で整備を進めている「としまの森」を案内する看板を設置するためその除幕式を行う。また、ソメイヨシノの植樹も併せて実施を検討している。

➤ 予算に関すること(令和 4 年度)

豊島区

箕輪町との交流事業における映像制作費… 400 千円
自治体間連携によるカーボン・オフセット事業経費(埼玉県秩父市との事業も含む)… 9,669 千円

箕輪町

箕輪町で行う除幕式の開催費用、宿泊費用… 1,225千円

03

都市交流の推進

➤ 持続可能性の高い交流事業について

過去の経緯も含め、今後も引き続き継続しうると考えられる交流事業は以下のとおりです。

種 別	交 流 事 業	今後の見通し
自治体交流	人事交流	平成 19 年から 15 年にわたり両都市で職員研修を目的とした相互派遣交流を実施しており、今後も継続して実施される見通し。 特に、箕輪町への派遣経験がある職員が中心となって「箕輪町 PT」が庁内で結成されており、派遣交流を経験した職員のなかで独自の盛り上がりを見せている。
民間交流	イベントの参加を通じた住民同士の交流	住民同士の交流として「ふくろ祭り」や「みのわ祭り」での双方のよさこいチーム派遣が挙げられる。また、ロードレースや駅伝といったスポーツの分野でも同じような交流が進められている。 直近の状況としてはコロナ禍によるイベント中止のため従来のような交流は行われていないが、いずれの交流も複数年に渡り行われてきたことを鑑みると民間交流の礎は気づかれていると考えられる。
自治体交流	カーボン・オフセット	豊島区で恒常的に発生する二酸化炭素を「としまの森」の整備により相殺することは SDGs 未来都市として地球環境の保全に向けた持続可能な取り組みを進めるうえで核となる事業であると考えられる。

➤ 都市交流の推進により得られるメリット

以下は「豊島区」「豊島区民」「民間事業者を含む各種団体」の 3 者が、長野県箕輪町との交流により得られるメリットを整理したものです。

豊島区	豊島区民	民間事業者を含む区内の各種団体
➤ 人事交流により職員の見聞が広がっていく。 ➤ カーボン・オフセットの推進による環境負荷の低減や、災害時における相互支援体制の構築など豊島区のまちとしての基盤が強固になる。	➤ 箕輪町の「自然」や「文化(古田人形劇)」といった箕輪町の独自の資源に親しむ機会が増えていく。	➤ 箕輪町の自然を扱ったイベントの開催が区内の商業施設などで開催される。 ➤ 「ソメイヨシノの植樹」など地域の活動の範囲が豊島区を超えて箕輪町まで広がる。

箕輪町との都市交流協定の締結

協 定 名 姉妹友好都市協定(仮称)

協 定 締 結 の 目 的 現在までの交流事業は、防災協定、人事派遣交流、森林(もり)の里親協定など、個々の協定を締結し実施してきた。今後より多面的な事業や交流を進めていくため、豊島区と箕輪町の交流が始まって今年でちょうど 20 周年の節目であり、豊島区政 90 周年でもある令和 4 年中に姉妹友好都市協定を締結する。

今後のスケジュール(予定)

日 付	内 容
3 月 22 日	第 1 回 都市交流推進委員会
6～7 月中	友好都市協定の締結【於：豊島区役所】
9 月下旬～ 10 月上旬	としまの森 除幕式【於：箕輪町役場】 箕輪町ツアーの催行